

**ノリ養殖環境速報 KH-29-11 (播磨灘)** 平成30年2月9日 発行

※平成29年度から「珪藻赤潮情報」の名称を「ノリ養殖環境速報」に変更しています。

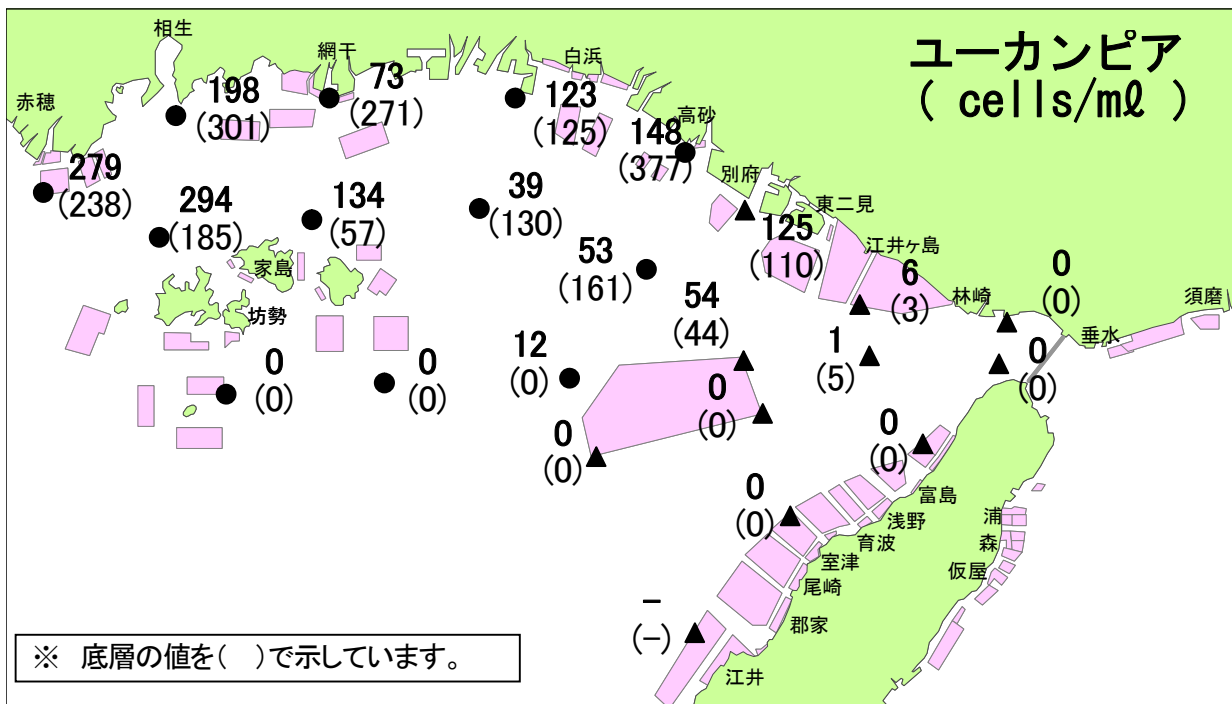
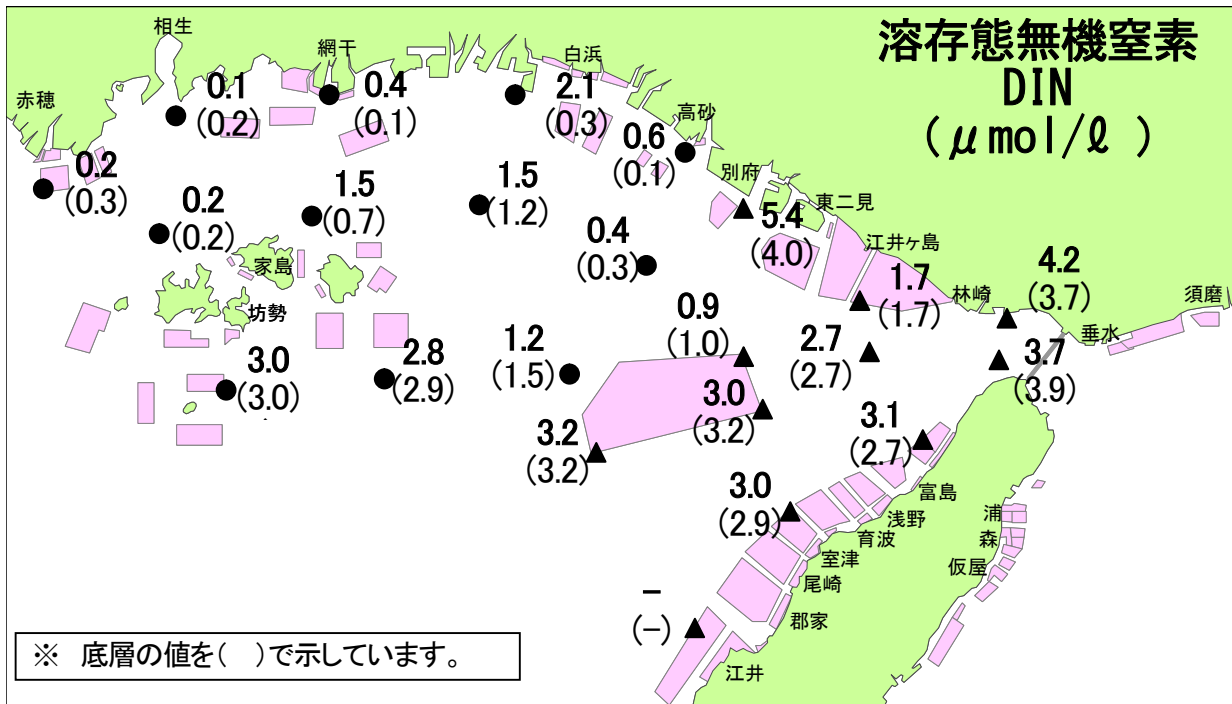
調査年月日：2月8日

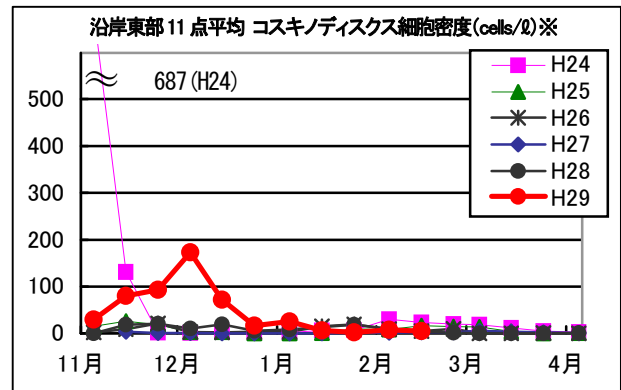
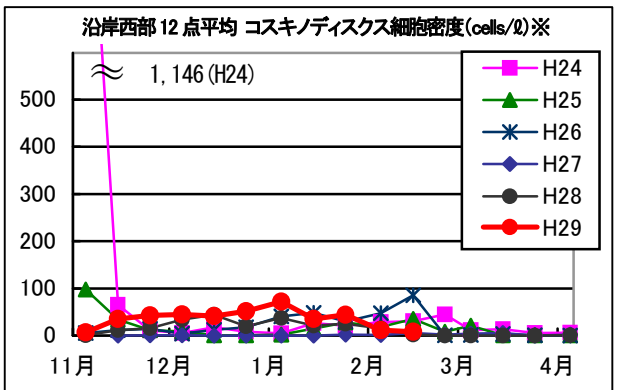
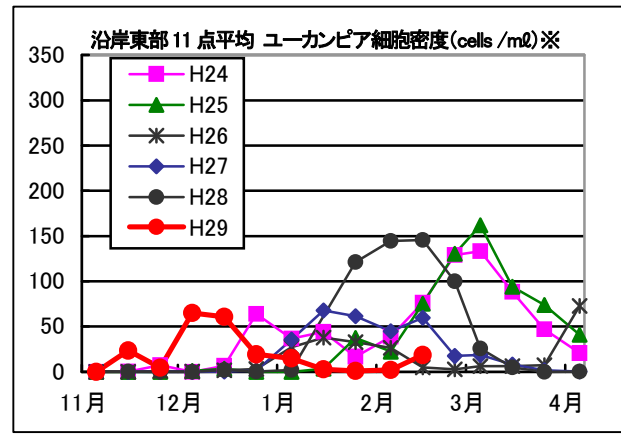
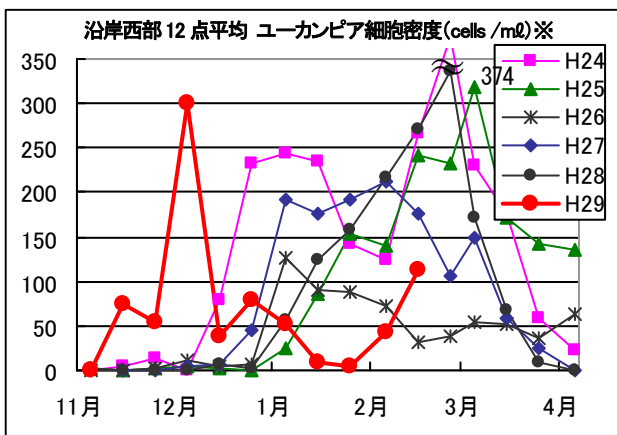
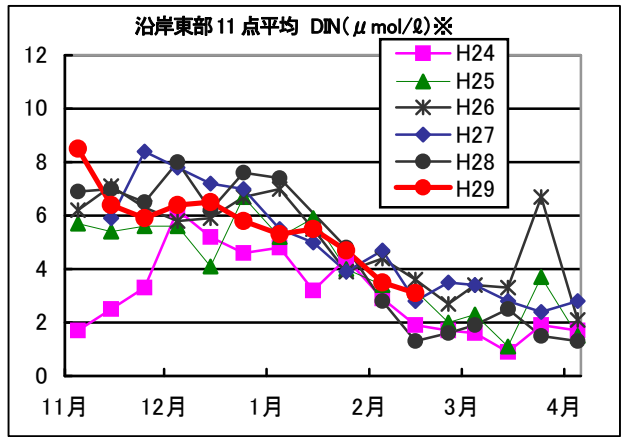
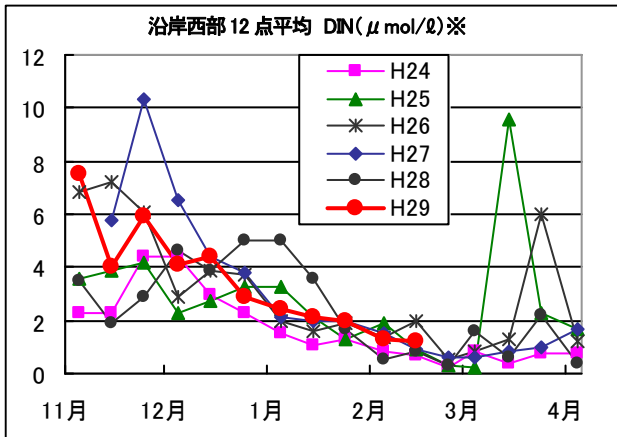
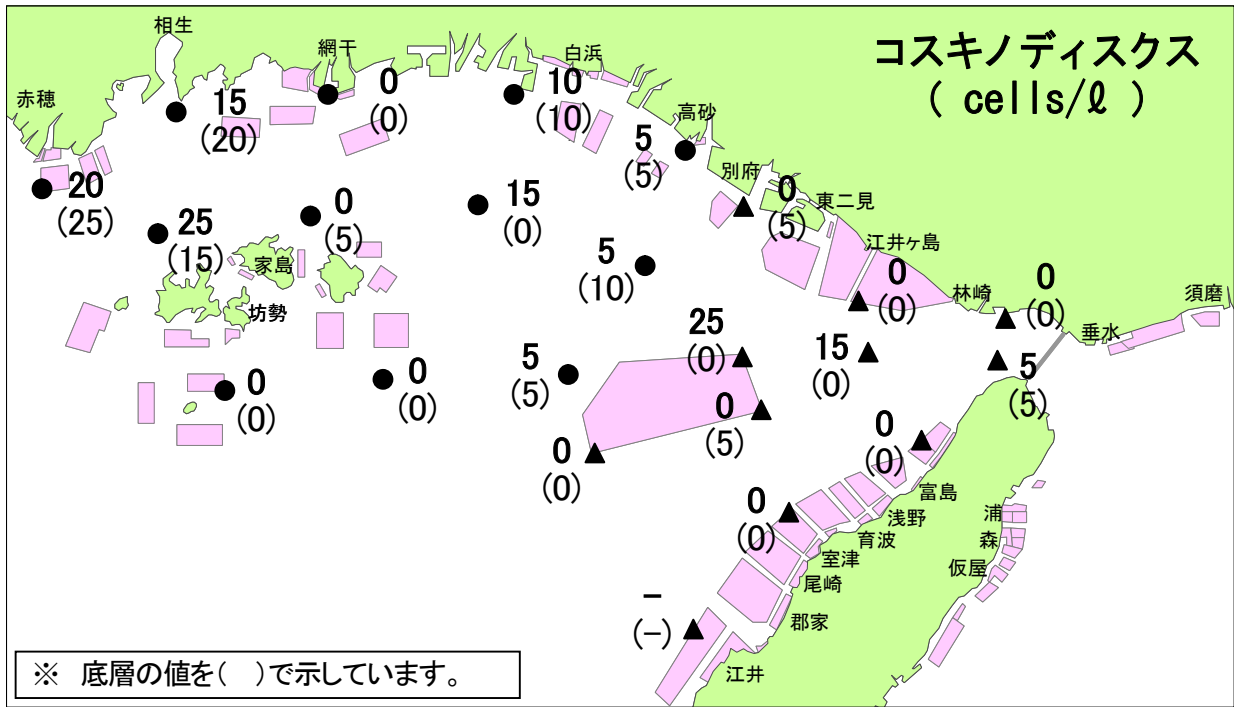
〔調査箇所は地図上に▲(東部)および●(西部)印で表示しています。〕

**概況** 播磨灘(調査海域)のDIN濃度は、沖合域や東部海域で概ね $2\mu\text{mol/L}$ 以上、北部沿岸域は $1\mu\text{mol/L}$ を下回っている海域があります。

大型珪藻のユーカンピアは北部沿岸域(概ね加古川以西)で多く確認されています。コスキノディスクスワイレシーは全域で確認されていますが散見される程度です。

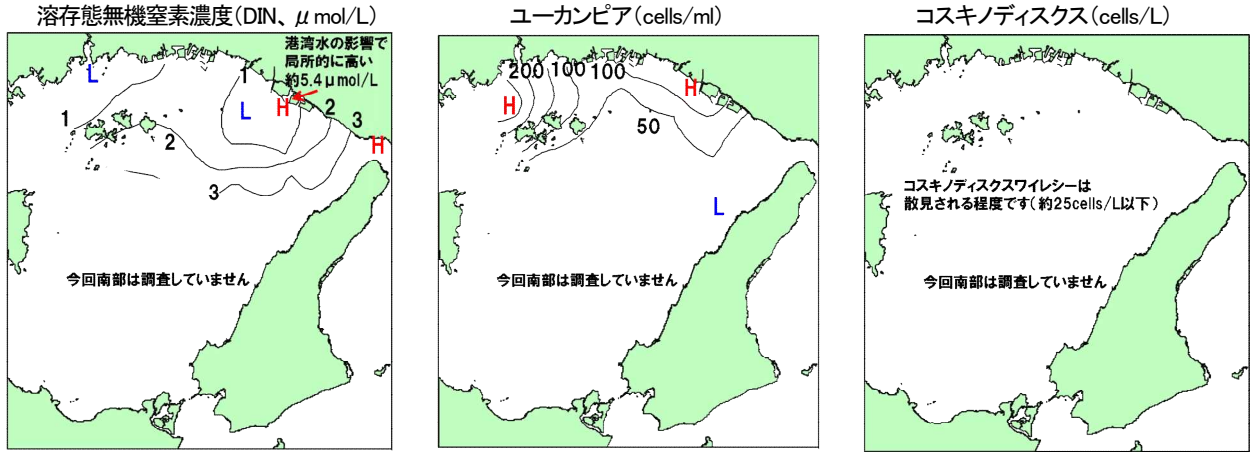
水温は、白浜以西では $5.7\sim 6.7^\circ\text{C}$ 、家島諸島周辺では $6.3\sim 7.7^\circ\text{C}$ 、江井ヶ島・高砂周辺で $6.2\sim 7.2^\circ\text{C}$ 、明石海峡付近並びに西浦では $7.3\sim 8.4^\circ\text{C}$ 、鹿ノ瀬周辺では $6.9\sim 7.5^\circ\text{C}$ でした。





※1: 数値はすべて表層の値です。2: 調査地点は、沿岸東部 11 点は▲、沿岸西部 12 点は●で表示しています。

平成30年2月8日の水平分布状況(表層、実測値)



\* Hは濃度又は密度が高く、Lは低いことを示しています

**播磨灘における今後の栄養塩等に関する動向見込み**

播磨灘北部沿岸（概ね加古川以西）から鹿ノ瀬漁場海域の一部では、スケルトネマ、キートセロス等の小型珪藻やユーカンピアゾディアクスが多く出現しており、特に前回の調査時に比べてユーカンピアゾディアクスの出現数が増加しています。今後の動向には十分にご注意下さい。コスキノディスクスワレイシーは散見される程度です。

播磨灘北部沿岸域では、表層の DIN 濃度が低く、 $1\mu\text{mol/L}$  を下回っている海域があります。家島諸島周辺及び東部海域の DIN 濃度は、概ね  $2\mu\text{mol/L}$  以上を維持しています。

大阪管区気象台の週間天気予報では、降水量は平年並か多いとされています。海域全体の短期的な栄養塩濃度の推移は、現状維持又はやや低下傾向と考えられます。

**週間天気予報** 気象庁 2月8日 16時32分 発表 ※気象庁ホームページより転載

向こう一週間(2/9~2/15)の近畿地方は、北部では低気圧や寒気の影響で曇りや雪または雨の降る日が多いでしょう。中部や南部では高気圧に覆われて晴れる日もありますが、低気圧や寒気の影響で雲が広がりやすく、期間のはじめは雨の降る日がある見込みです。なお、12日頃は寒気の影響によっては北部で大雪となり、海上はおおしけとなるおそれがあります。

最高気温は、期間のはじめと終わりは平年並か平年より高く、期間の中頃は平年より低いでしょう。最低気温は、平年並か平年より低い見込みです。

降水量は、平年並か平年より多いでしょう。

**その他の情報**

- ・岡山県の調査(1/31)では、日生沿岸でDIN(表層)が $0.6\mu\text{M}$ でした。大型珪藻のコスキノディスクスは $0\sim 10\text{cells/L}$ 、ユーカンピアは $0\sim 50\text{cells/ml}$ 確認されました。
- ・香川県の調査については、以下のURLから参照してください。

<http://www.pref.kagawa.jp/suisanshiken/jyouhou.htm>

※栄養塩の単位： $\mu\text{mol/L} = \mu\text{g}\cdot\text{at/L} = \mu\text{M}$

**【今後の予定】**

- ・平成30年4月上旬まで毎月3回程度(上・中・下旬)の発行を予定しています。
  - ・次回は平成30年2月20日頃に発行予定です。
  - \*この情報は、ホームページでも見ていただけます。以下のURLにパソコン等からアクセスして下さい。
- <http://www.hyogo-suigi.jp/>